



やのよりのぶ 議員
矢野 依伸

少子化対策

出会いの場と住宅地整備を 人口問題と絡め取り組む

問 当町の少子化対策の取り組みの成果、課題をどのように捉えているか。
また、他自治体と比較した場合、取り組み内容や支援策に大きな違いがあるのか問う。

答 渡辺企画調整室長
町内の若手グループと協力し年2回程度出会いの機会を創出するイベントを開催している。
県内の東西にある「こうち出会いサポートセンター」サテライトに職員配置し機能強化を図ると

問 結婚を望む人へのフォローと「こうち出会いサポートセンター」の活用。また、住宅地整備が必要では。

答 渡辺企画調整室長
子育て世代包括支援センターの設置や妊娠・出産・子育て支援策のほか、不妊治療費の補助、中学生までの医療費無料化（6年度から18歳までに拡充）など、経済的支援によって子どもの育ちを支える施策を講じてきたが、今年度においても出生者数の減少傾向は引き続き依然厳しい状況にある。他の自治体と支援策を比較した場合、特に大きな違いはない。



高知で恋しよ!! 応援サイト

のことであるので協議・連携していきたい。

答 松本町長

少子化、人口問題はあらゆる施策の組み合わせが必要で、大規模な高台移転だけでなく小規模な住宅地についても人口問題と絡めて取り組む。

財政運営

辺地域域指定 の再検討を

様々な組合せ で確認作業を

問 令和6年度当初予算において編成上留意した点は、また、次年度以降の財政運営を見通した場合の配慮すべき点はどのようなか。

問 町全域が過疎地域の指定を受けているが、この中にもあっても交通条件や自然的、経済的、文化的諸条件が恵まれず、他の地域に比べて生活水準が著しく低い地域として、現在、鈴、熊野浦、馬荷の3地区が辺地域域とし

答 西村副町長
単に積み上げ予算でなく令和5年度歳出予算を越えない要求額の設定、公債費負担及び実質公債比率の上昇抑制から一般会計における歳出予算総額の10%以内に、さらに新規・既存事業の圧縮や縮減、繰越を踏まえた予算規模の平準化などに留意し編成を行った。
次年度以降については、財源などをはじめ様々な行政課題はあるが、必要な事業や施策は取り組まなければならない。
将来にわたり安定的に行政サービスを提供するためには優先順位の判断や新たな財源確保も含め行っていく必要がある。

て指定を受け、新たな事業を実施するうえでは財政運営上有利なものとなっている。
指定の要件はあるが、この3地区に隣接する地区を含めた指定、また、複数の地区を一つの行政区として新たな指定は受けられないか。
答 渡辺企画調整室長
辺地域域の設定は一般的には町とか字とかで設定するが、県に問合わせると複数の地区をまとめて一つの辺地とすることは可能とのことである。
今後、いろいろな組み合わせを考えながら、該当する所は無いか確認作業を進める。

○過疎対策事業債
充当率100%
交付税参入率70%
○辺地対策事業債
充当率100%
交付税参入率80%
10%有利